

平成25年度 千葉県少年サッカー選手権3年生大会

決勝

日時 2013年11月17日(日曜日)

試合会場 印西市松山下公園陸上競技場

気象状況 天候 晴れ 気温 13℃ 湿度 60% 風力 1m/s ピッチ状況 天然芝 良

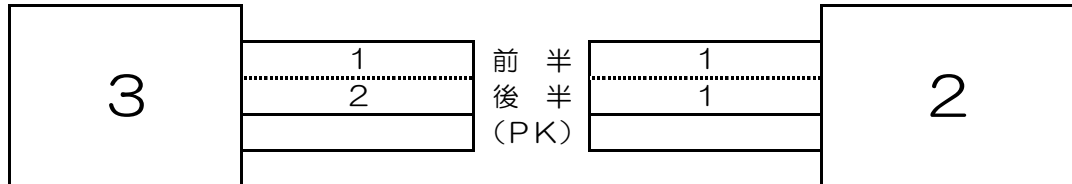
キックオフ 10時30分

対戦チーム

船橋法典FC

新松戸SC

試合結果



戦評

千葉県少年サッカー選手権3年生大会の決勝戦、4種年代最初の県タイトルを賭けて戦うのは、準決勝を接戦の末勝ち上がってきた船橋市の船橋法典FC(以下船橋法典)と、同じく準決勝をPK戦の末勝ちあがってきた松戸市の新松戸SC(以下新松戸)との戦いとなった。

熱い戦いとなった決勝戦は、前半から見応えのある展開になった。

2番大塚くんと3番伊藤くんを中心にボールを支配し相手ゴール前まで押し込んでくる船橋法典に対し、新松戸は10番河合くんを中心に粘り強い守備から、9番小久保くんを活かした質の良いカウンターアタックでゴールを狙う一進一退の攻防が続く。

最初に決定的なチャンスが訪れたのは、前半1分船橋法典背番号2番大塚くんのミドルシュート。

これは惜しくもポストをたたく。その後も船橋法典がコーナーキックのチャンスを迎えるがシュートまでいけない。すると、前半3分新松戸のカウンターアタックから9番小久保くんが、船橋法典のディフェンスラインの背後を抜け出してGK三橋くんと1対1になり冷静にゴールをきめた。新松戸はファーストシュートがゴールへと結びついた。その直後、船橋法典が反撃を仕掛ける。前半4分に2番大塚くんがドリブル突破からシュートを放つが、新松戸GK武田くんがブロックする。同じく6分にも大塚くんがシュートするがゴールの枠をとらえきれない。前半8分には、右サイドからのフリーキックのチャンスをショートパスでつなぎシュートまで行くが新松戸ゴールキーパー三橋くんの正面でゴールならず。

対する新松戸も9分にカウンターアタックからコーナーキックのチャンスを得るがシュートまでいけない。

10分には、新松戸9番小久保くんが船橋法典ディフェンダーの背後を抜け出すがおフサイドの判定。すると、前半12分船橋法典3番伊藤くんと、2番大塚くんと細かいパスワークでチャンスをつくると、13分船橋法典11番森川くんが左サイドでボールを受けると3番伊藤くんが中央付近から森川くんの前方のスペースへダイナミックな動きをする。森川くんから伊藤くんへパスがわたると、伊藤くんは左サイドから中央へドリブルで切り込み相手ディフェンダーと競り合いながらシュートを放つ。新松戸ゴールキーパー武田くんも反応するが、ボールはサイドネットに吸い込まれた。船橋法典・背番号3番伊藤くんの躍動感ある動きから生まれた得点だった。前半残り2分で船橋法典が同点に追いついた。

後半に入ると、前半のうちに追いついた船橋法典が主導権を握り、新松戸ゴール前に押し込む展開。しかし後半2分新松戸9番小久保くんがカウンターから船橋法典ディフェンダーの背後に抜け出すが、今度は船橋法典GK三橋くんがクリアーする。

後半5分船橋法典3番伊藤くんがミドルシュートを放つと新松戸GK武田くんがボールをはじいた。

そのボールに船橋法典11番森川くんが反応しGKのいないゴールへシュートするが、新松戸ディフェンダーが身体を張った決死のディフェンスでコーナーに逃げる。このチャンスをゴールに結びつけたい船橋法典は、コーナーキックのこぼれ球を船橋法典・背番号3番伊藤くんが芸術的なループシュートついに船橋法典が逆転に成功する。

勢いに乗る船橋法典は、後半7分に11番森川くんがドリブル突破からシュートが決まり3点目。攻撃の手を緩めない船橋法典は10分カウンターアタックから新松戸ゴール前までボールを運ぶが、シュートまでいけない。

新松戸10番河合くんのコーナーキックは相手ディフェンダーにあたり直接ゴールに入った。河合くんのキックの精度は高く、試合の流れの中でも相手ディフェンダー背後へのパスの質はとてレベルが高かった。

その後も、新松戸が猛攻をみせる。後半14分には、船橋法典のゴールキックをカットして10番河合くんがシュートを放つがわずかにバーの上に外れる。目の離せない展開が続くが、船橋法典が新松戸の猛攻に耐え、3対2で見事優勝に輝いた。

目の離せないゲーム展開で決勝戦らしい素晴らしい試合だった。

この年代でボールをコントロールする、運ぶ、キックすることがストレスなくできていることは、日本のレベルが飛躍的にレベルアップしている現状だと感じた。

それからとても印象的だったことは、みんな元気でもらったメダルをキラキラした目でみていました。

これからも、サッカーを楽しんで、高いレベルを目指してほしいです。
